

令和4年度 第7回浦川原区地域協議会 次第

と き 令和4年10月20日（木）18時30分から

ところ 中猪子田集会所

1 開 会（ ）

○会議の成立確認（成立出席委員数6人） 出席委員数____人 欠席委員数____人

○会議録の内容確認者の指名 確認委員の氏名 杉田和久 委員

2 報 告

(1) 会長報告

(2) 委員報告

(3) 市からの報告

・3区中学校統合に向けた校名候補の選定に係るアンケートの実施について（資料1）

3 協 議

(1) 自主的審議事項の検討について（資料2・3）

4 その他

・浦川原区地域協議会委員研修会について

・令和4年度地域活動支援事業の進捗状況について（資料4）

5 次回の会議日程

・令和4年度第8回地域協議会

日時：令和4年 月 日（ ） 時 分から

会場：_____

6 閉 会（ ）

校名候補の選定のお願い

3区中学校統合実行委員会設置準備委員会
委員長 宮川 勇

寒冷の候、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。3区中学校統合実行委員会設置準備委員会では、皆様からご理解とご協力をいただきながら、統合に向け一步一步着実に進めてまいりますので、よろしく申し上げます。

さて、9月28日に開催した第1回全体会議と同時に行われた校名・校歌・校章部会において、中学生や地域から応募があった161件75種類の校名の中から、以下の視点を参考に新しい校名の候補を選定しました。

視点1：地区名からイメージができる校名

安塚、浦川原、大島の地区名からイメージできる校名を視点として選定

視点2：歴史的な経緯からイメージができる校名

3地区の歴史からイメージできる校名を視点として選定

視点3：地理的な経緯からイメージができる校名

3地区の地理的な位置づけや学校の立地場所からイメージできる校名を視点として選定

視点4：将来に希望が持てるようなイメージができる校名

視点1～3に依らず、新しさ、将来性、希望など生徒が未来に向かって進むようなイメージが持てる校名を視点として選定

慎重な検討による選定の結果、裏面のとおり7つの校名候補を選びました。部会では、更に選定を進めるに当たり、地域の大切な宝となる学校の校名について、多くの皆様から意見を伺いたいと考えました。

つきましては、校名候補の選定に係るアンケートを実施しますので、アンケートの回答をお願いします。なお、小学校4～6年生、中学生にも別途アンケートを行っています。

皆さんの意見を参考に、第2回部会において多数決に依らず、校名候補を更に絞り込み、最終的に市として校名を決定します。

<アンケートの提出について>

下記2次元コード、または裏面に記載の回答様式に必要事項を記入し、下記提出先へ持参、郵送、FAX、メールにて提出してください。

皆様の回答をお待ちしております。

〆切 11月14日(月) 必着

◇募集期間：令和4年10月24日(月)～令和4年11月14日(月)

◇応募先&問合せ先 浦川原区総合事務所 教育・文化グループ

【住所】〒942-0393 上越市浦川原区釜淵5

【FAX】025-599-2225 【電話】025-599-2104

【e-mail】uragawara-kyouiku.bunka.g@city.joetsu.lg.jp



【学校候補名】(五十音順)

校名	部会での選定理由	公募で示された校名の主な理由
桜花中学校 (おうか)	3区にも桜が咲く場所がある。桜の美しさを表現した校名に新しい学校をイメージした。	・桜の花が美しい学校であり、桜は上越の木でもあり、春に美しく咲く桜は人々の心を和ませる。桜を見て美しいと思う心は、皆心一つに一緒。
大浦安中学校 (おおうらやす)	各地区の名前を一文字取り、3校の名前を語り継げるようにしたい。	・それぞれの学校の頭文字を合体させることで、3校が1つの学校に統合されたことを表し、昔の学校の名残も表せる。3区を合わせて呼ぶときは、以前から「大浦安」の名称が地域に定着している。
新星中学校 (しんせい)	新しくできる中学校が3区の希望の星であることをイメージできる。	・新しく誕生した星にたとえ、丘の上に輝く新しく誕生(開校)した中学校で、ここに学ぶ生徒に輝いてほしいという思いを込めた。
雪華中学校 (せつか)	雪降る街にある学校と明るいイメージのある「華」を組み合わせ、新鮮な感じがもてる。	・マイナスイメージの雪であるが、徐々に水になってゆっくりと里山や畑に潤いを与えてくれるため、三校の共通点の大雪・豪雪地帯から考えた。
東頸中学校 (とうけい)	3区が位置する東頸城の名前を付け、地域の名前を語り継ぎたい。	・合併前の東頸城郡を住民に馴染みのある東頸として名を残すことで、新しい中学校として住民に愛され、歴史を紡いでいくことを期待して。
東陵中学校 (とうりょう)	上越市東部の丘陵地帯にある学校ということイメージできる。	・統合校は、旧東頸城郡西部地区内の3中学校で、上越市の東部に位置し、校舎は県内2丘陵の一つである東頸城丘陵の丘の上に建つことから。
わかば中学校	「わかば」が地域を表す言葉として馴染みがあり、新しさも感じさせてくれる。	・JA(農協)の合併により大浦安は、「わかば地域」として定着していると思われ、受け入れやすいのではないかと。

【上記の校名の中からお一人3点まで、校名を選んでください。】

校名 ※3つまで	①	②	③
ご意見がありましたら記入してください。			



中学校の新設統合に向けて動き出しました

令和4年10月18日

3区中学校統合実行委員会設置準備委員会 事務局

安塚中学校、浦川原中学校、大島中学校の新設統合（令和6年4月）に向け、「3区中学校統合実行委員会準備委員会」（以下「準備委員会」と記載）を立ち上げ、第1回全体会議を9月28日（水）に開催しました。なお、3区の地域協議会において統合に関する答申が揃いしだい、準備委員会は名称を「3区中学校統合実行委員会」に変更します。今後は、統合に向けて各部会を順次開催し、取組を進めていきます。

－ 3区中学校統合実行委員会設置準備委員会 －

<目的>

上越市立安塚中学校、浦川原中学校、大島中学校を統合するために必要な協議や調整を行う3区中学校統合実行委員会の設置に向けた諸準備等を行うことを目的としています。名称を「3区中学校統合実行委員会」に変更した後は、これまでの準備業務を本業務として行っていきます。

<組織> ※カッコ内の数字は人数を表しています

区分	協議事項	構成員	事務局担当課
全体会議	全体総括、部会報告の確認 その他必要な事項（18）	保小中学校保護者代表（9） 町内会代表（3） 後援会代表（3） 中学校代表（3）	教育総務課 区担当
部会	校名・校歌・校章（18）		
	通学路及び通学方法（21）	小中学校保護者代表（12） 町内会代表（3） 地域青少年育成会議代表（3） 中学校代表（3）	区担当 学校教育課
	PTA組織、交流活動、学校指定用品（体操着等）（21）	保小中学校保護者代表（18） 中学校代表（3）	区担当 教育総務課
	後援会組織（9）	後援会又は同窓会代表（6） 中学校代表（3）	区担当 教育総務課
	学校運営協議会・地域青少年育成会議組織検討（14）	学校運営協議会代表（8） 地域青少年育成会議代表（3） 中学校代表（3）	学校教育課 社会教育課 区担当

実行委員長 宮川 勇（浦川原中学校同窓会長）

副実行委員長 渡辺 武敏（安塚中学校後援会長）

岩野 高正（大島中学校後援会長） 敬称略

※各部会正副部会長は、順次開催予定の第1回部会で決まります。

浦川原区地域協議会 A グループ 自主的審議事項の検討について

リーダー：池田副会長 構成委員：相澤委員、赤川委員、春日委員、北澤（正）委員
杉田委員、宮川委員

- テーマ
- 未来の浦川原を担う子どもたちの育成、地域への愛着醸成
 - 若者・子育て世代に向けた取組
 - ◆若者・子育て世代のニーズを把握するための意見交換
 - ◆若者に特化したテーマ（自然な出逢いの場づくり）
 - 文化の伝承

●グループワーク等の経過

第 1 回グループワーク (令和 4 年 1 月 21 日)	Aグループが考えるテーマについて、まずは地域の声を聞くことが重要と考え、次の 3 団体と意見交換を行うこととした。 ・うらがわらスポーツクラブ ・浦川原商工会 ・浦川原区町内会長連絡協議会
第 2 回グループワーク (令和 4 年 4 月 21 日)	3 団体との意見交換の進め方について話し合いを行った。
6 月～10 月	「3 団体との意見交換」を実施するに当たり、各団体からみた「浦川原区の課題」について聞き取りを行った。（※裏面のとおりに）
第 3 回グループワーク (令和 4 年 7 月 21 日)	・うらがわらスポーツクラブからの聞き取り内容について話し合いを行った。 ・Aグループのテーマの一つである「文化の伝承」について、北澤委員から「令和 5 年度予算に向けて検討を進めたい」という提案があり、次回以降検討に入ることとした。
第 4 回グループワーク (令和 4 年 8 月 3 日)	「文化の伝承」について、北澤委員が作成した資料「浦川原の芸能・文化を守る事業」を基に事業化に向けたイメージを Aグループで共有した。「月影雅楽」「飯室神楽」「保倉川太鼓」を、浦川原が守るべき文化の一つとして位置付け、文化の保存と継承につながる取組の実施に向けて検討を進めることとしたが、事業計画を熟度の高いものとするためには、団体との調整等に時間を要することから、令和 5 年度予算を見送り、令和 6 年度予算に向けて、引き続き協議を行うことを確認した。
第 5 回グループワーク (令和 4 年 9 月 9 日)	「浦川原の芸能・文化を守る事業」の事業計画を作成するため、まずは事業イメージを各団体に伝え、団体の現在の活動状況を確認する場を設けることとした。



◎Aグループは、「地域の団体との意見交換」と「文化の伝承」の 2 本立てで検討を進めている。

【参考】地域の団体からみた「浦川原区の課題」（抜粋）

人口減少対策

- ・R253 沿いに宅地を造成する。
- ・企業誘致を積極的に行い、働き口を多くする。
- ・子どもの環境づくり、魅力的な浦川原にするため、区内に遊び場（公園）を作してほしい。
- ・人口減少に歯止めをかけるべく、安塚、大島から上越市街へ転出する人を浦川原で食い止める方策を考えてほしい。
- ・若い世代が好むアウトレットモール等の誘致（低廉な土地の提供）等、人が集まる地域を目指す。

過疎化、高齢化対策

- ・高齢化と世帯数の減少が生じ、自治会活動の維持が困難。
- ・世帯数の多い町内会と少ない町内会で、町内会運営における格差が生じている。

地域資源の活用・活性化

- ・ゆあみが廃止される予定だが、周りのアスレチックやビオトープ型の池の再利用を考え、活性化してほしい。
- ・山本ぶどう組合が実施していた「山本ぶどう祭り」が、高齢化のため運営できなくなってしまったので、何か手立てはないか。

浦川原区地域協議会Bグループ 自主的審議事項の検討について

リーダー：藤田会長 構成委員：村松副会長、小野委員、北澤（誠）委員、五井野委員

テーマ ○大浦安を視野に入れた広域的な課題 ◆中山間地域における公共交通の在り方
◆大浦安の学校の在り方

●グループワーク等の経過

第1回グループワーク (令和4年1月21日)	Bグループの課題に対し、具体的に何をするか協議し、次の3点に絞って検討を進めることとした。 ・ほくほく線は、地域住民にとって欠かせない存在であり、利用客を増やすためにも利便性を向上させるための方策を検討する。 ・令和4年4月からデマンドバス3ルートが廃止されることから、少なからず影響が生じる地区があり、集落の衰退にもつながりかねない。デマンドバス以外の代替手段を検討する。 ・安塚・浦川原・大島3区の小中学校の今後の方向性について、今後の勉強会で教育委員会の考えを聞き、早急に検討と取組を行う。
大浦安の学校に関する勉強会 (令和4年1月24日)	教育委員会が大浦安各区の保護者と意見交換(R3.4.16～R3.9.28)を実施し、学校適正配置について整理がついたため、浦川原区地域協議会として教育委員会から説明を受けた。
自主的審議に向けた研修会 (令和4年3月11日)	中山間地域における公共交通の在り方について、ほくほく線の現状と課題を学ぶため、北越急行株式会社 代表取締役社長 小池裕明氏を講師に、「25年目の原点回帰」というテーマで研修会を開催し、一般参加者も含め39人が参加した。
第2回グループワーク (令和4年4月26日)	市役所交通政策課の職員から「互助による輸送」「近所の助け合いによる輸送」に対する補助制度、「地域交通プロジェクト」についての説明を聞いた上で、浦川原区に適した交通手段を模索しながら組み立てていくことを確認した。
第3回グループワーク (令和4年7月11日)	藤田会長が作成した資料を基に、ほくほく線の利用促進、デマンドバスの代替交通手段の整備について協議した。
第4回グループワーク (令和4年7月25日)	区内で実施する送迎事業の事業化に向け、将来的な需要や潜在的なニーズを探るため、8月下旬に全戸を対象にアンケート調査を行うことを確認した。
第5回グループワーク (令和4年8月10日)	・「高齢者の交通事情を改善する取組」と「ほくほく線の利用促進」についてのアンケート調査の内容を検討した。 ・安塚・牧区で10月から実証運行が開始される予約型コミュニティバスについての説明を聞いた。

全戸配布アンケートの実施 (令和4年8月25日)	区内の全戸(1,030世帯)にアンケート用紙を配付し、32人から提出があった。提出者のうち、複数箇所への送迎を希望した人は7人、応分の負担をしても利用する人は9人、月2~3回程度の運行でも利用したい人は3人で、利用を希望する実質人数は12人であった。
第6回グループワーク (令和4年9月28日)	アンケート結果を基に、上越市住民主導型コミュニティ交通事業の導入及びほくほく線の利用促進と地域活性化のための区内2駅待合所の改装について、予算化に向けた検討を行った。
第7回グループワーク (令和4年10月14日)	Bグループの進め方に関し、次のように進めることとした。 <ul style="list-style-type: none"> ・安塚区と牧区で実証運行が始まった予約型コミュニティバスを令和6年度から導入できるよう検討を進める。 ・駅舎や駅舎周辺の賑わい創出に向けた検討を進めるとともに、ほくほく線の利用促進に向けた意見書の取りまとめを進める。 ・学校の在り方について、中学校統合の動きを注視する一方で、小学校の統合に関しては様子を見る。

【参考】アンケート結果抜粋

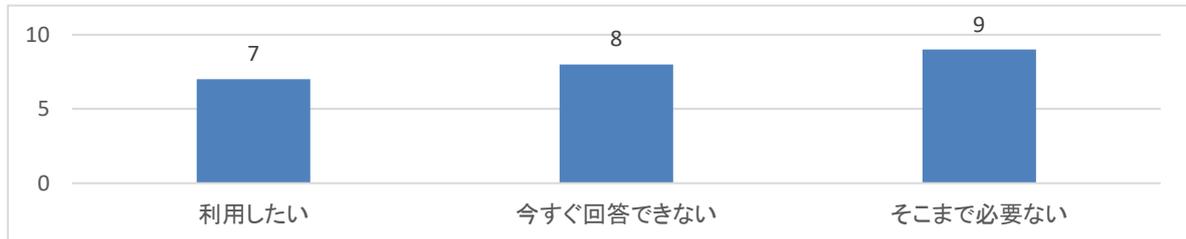
問9 浦川原区内の複数箇所への送迎を検討しており、例えば、

その① 自宅から医療機関へ行き、終わったら大型店で買物をして帰宅する。

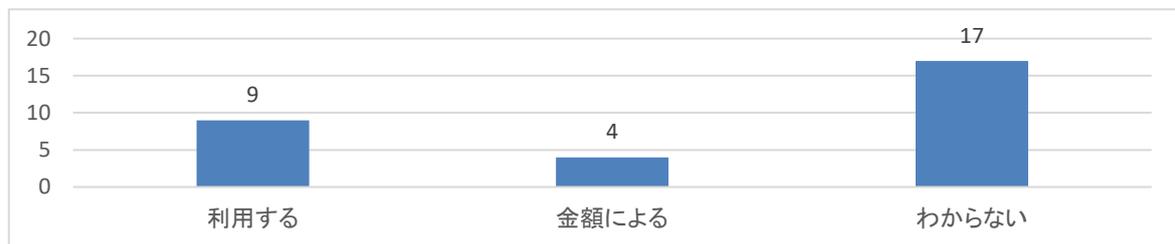
その② ほくほく線で高田・直江津地区に出かける際の送迎を自宅から駅まで行う。

その③ 総合事務所に寄り、図書館で本を返し、大型店で買物をして友達と談笑してから帰宅する。

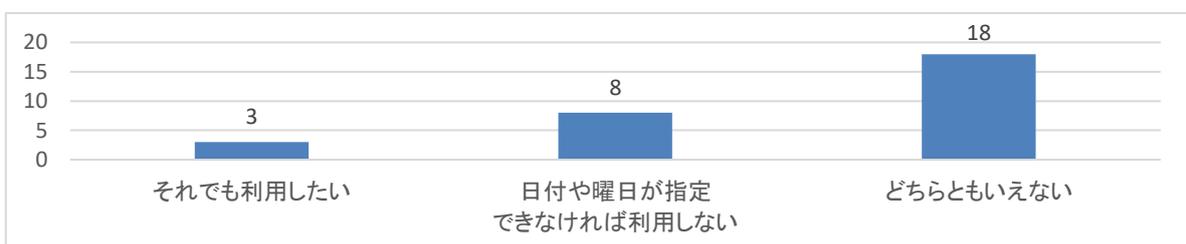
このような予定がある場合、高齢者の送迎事業を利用しますか。



問10 公の送迎支援事業となりますので、利用者から応分の負担をいただくこととなります。このことを承知された上で、高齢者の送迎事業を利用するかがいます。



問11 当初は4地区別に運行スケジュールを作成し、各地区ごとに毎月2~3回程度運行する予定です。このような運行スケジュールの場合、高齢者の送迎事業を利用するかがいます。



令和4年度地域活動支援事業の進捗状況について

(令和4年10月14日現在)

No.	事業名(団体名)	事業概要	進捗状況	
1	第13回浦川原和太鼓祭 (NPO法人保倉川太鼓)	<p>日本古来の和太鼓の伝統文化と和の心を浦川原から発信し、「人と地域が元気なまち」にするため、第13回浦川原和太鼓祭を開催する。</p> <p>■開催日 10月8日(土) ■会場 浦川原体育館</p> <p>○事業費 795,884円 ○補助金額 670,000円 ○完了予定日 10月31日</p>	実施中	<ul style="list-style-type: none"> ・7月 ポスター、チラシ印刷 ・8月 市内各所ポスター掲示依頼(200枚) ・10月2日 チラシ新聞折込み(22,000枚) ・10月8日 第13回浦川原和太鼓祭開催(入場者626人)
2	虫川の観光資源を活用した観光PR事業 (大字虫川自治会)	<p>虫川の地域資源・観光資源の整備を通じて地域の活性化を図るとともに、観光客の満足度を高めることを目的に、案内標柱の設置や観光案内などのPR活動を行う。</p> <p>■案内標柱の設置</p> <p>○事業費 333,300円 ○補助金額 333,000円 ○完了予定日 令和5年3月31日</p>	実施中	<ul style="list-style-type: none"> ・通年 観光案内 ・5月 倒木処理 ・5月、7月、10月 草刈り(3回) ・6月～7月 案内標柱製作、設置 <p>【今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月 冬囲い、案内標柱取り外し
3	うらがわら雪あかりフェスタ (うらがわら雪あかりフェスタ実行委員会)	<p>区内の交流と区外からの誘客を進め、雪と親しみながら地域活力の向上を図るため、うらがわら雪あかりフェスタを開催する。</p> <p>■開催日 令和5年2月25日(予定) ■会場 浦川原区一円</p> <p>○事業費 165,000円 ○補助金額 165,000円 ○完了予定日 令和5年3月15日</p>	着手予定 (11月)	<p>【今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月 実行委員会開催 ・令和5年1月 おでかけマップ印刷、全戸配布 ・令和5年2月 看板・のぼり旗設置、うらがわら雪あかりフェスタ開催

No.	事業名 (団体名)	事業概要	進捗状況
4	広報紙「夢だより」周知推進事業 (NPO 法人夢あふれるまち浦川原)	<p>毎月発行している夢だよりについて、カラー刷りで発行した際には特に好評を博したことから、今後はカラー版で発行し、法人の事業展開等について周知する。</p> <p>■案内看板設置</p> <p>○事業費 266,200 円 ○補助金額 130,000 円 ○完了予定日 令和5年3月31日</p>	<p>実施中</p> <p>・4月～9月 「夢だより」発行 (6回) 【今後の予定】 ・10月～令和5年3月 「夢だより」発行 (6回)</p>
5	「和山・観音堂」トレッキングコース活性化事業 (NPO 法人夢あふれるまち浦川原)	<p>トレッキングコースに丸太階段を設置することで安全対策と事故防止を図るほか、県指定文化財「木造十一面観音立像」のPRを含めた利用促進を図り観光交流を推進する。</p> <p>■丸太階段設置 ■パンフレットの作成</p> <p>○事業費 900,000 円 ○補助金額 854,000 円 ○完了予定日 11月30日 (当初完了予定日:10月31日)</p>	<p>実施中</p> <p>・4月 倒木処理 ・7月、10月 草刈り (2回) ・7月31日 トレッキングイベント開催 ※天候不良のため中止 【今後の予定】 ・10月～11月 丸太階段設置、パンフレット作成 (トレッキング、十一面観音立像の2種類) ・11月5日 トレッキングイベント開催</p>
6	宿泊体験交流施設月影の郷イベント事業	<p>創造力や思考力を養い、好奇心が芽生える機会を提供し、地域と共に歩む学校づくりの一助とするため、クラフト・スクエア in 森の学校を開催する。</p> <p>■開催日 6月4日・5日 ■会場 月影の郷</p> <p>○事業費 3,339,318 円 ○補助金額 2,393,000 円 ○完了予定日 12月20日</p>	<p>実施中</p> <p>・4月 チラシ作成 ・5月 市内の全小中学生にチラシを配付 ・6月4日・5日 クラフト・スクエア in 森の学校開催 (参加者延べ330人、スタッフ延べ155人) ・7月～11月 記録編集</p>